



KAWASAKI CITY

Tamagawa Ecomuseum

多摩川エコミュージアムプラン

「水と緑と歴史」そして「人」とのネットワークの形成をめざして

プランづくりのめざすもの

源流の笠取山から東京湾へと流れる多摩川は、流域都市全体の大きな財産です。

川崎市は平成6年に市制70周年を迎えましたが、これを記念して地域の貴重な資源である多摩川を舞台に、市民が主体となった様々な記念事業が展開されました。これらの事業は、市民の多摩川への熱い思いや願い、日頃の活動に支えられたものでしたが、こうしたことが契機となって、多摩川エコミュージアムの構想づくりが始められ、構想の拠点となる「二ヶ領せせらぎ館」の開館へとつながってきました。

「多摩川エコミュージアムプラン」は、これまでの市民活動の積み重ねを基に策定されたものです。その底流に継続して流れるものは、多摩川を中心とした、「水と緑と歴史」の「エコミュージアム」づくりであり、それらを市民自らが創りあげるという「市民主体」の基本理念です。

このプランは、身近な自然や歴史、文化などを見つめ直し、市民活動を通して地域を考え、暮らしやすい快適環境を自ら創りだしていくことをするのですが、その中心には常に市民活動があります。

プランづくりにあたっては、策定プロセスを行政が考え、計画し、実施するという従来の手法から、市内各地での様々な市民活動を総合化し、技術面や専門的な視点からの検討、さらには実現可能性なども加味して計画へと昇華するという手法をとりました。そして、行政や企業は、具体化への道筋や方策とともに考え、ともに活動し、必要な支援を行うという役割を担ってきたのです。いわば、市民が主役の分権型の地域社会に相応しい、新しい計画策定手法を実践したものといえます。

今後、このプランに沿った市民活動が多摩川から多摩丘陵、そして流域全体へと広がっていくものと思われますが、その一層の充実を図りながら、市民・企業・行政のパートナーシップによるエコミュージアムづくりの推進をめざします

Tamagawa Eco-museum Plan

The goal of this plan is to improve environmental conservation through the development and maintenance of the Tamagawa River, a symbol of Kawasaki City.

The main feature of the plan throughout this process is its special emphasis on community participation.

From the first stage of drafting, the plan has incorporated the experiences of various community activities into its basic concept.

The Tamagawa Eco-museum Plan will further promote community activity, and support community development through the joint partnerships of citizens, private companies and local administration.

平成13年5月
川崎市

「多摩川エコミュージアムプラン」の考え方

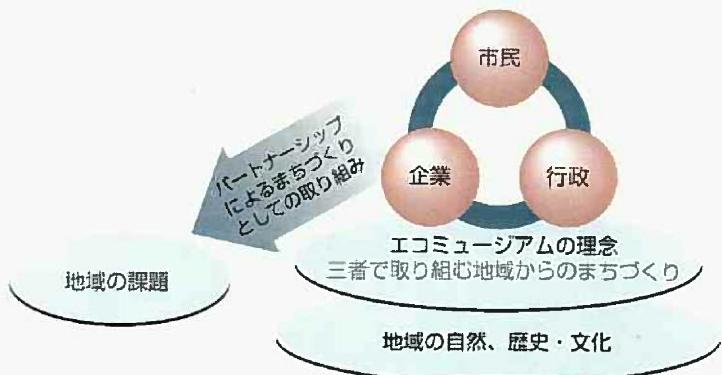
- Concept of "Tamagawa Ecomuseum Plan" -

多摩川は川崎市に残された貴重な自然空間であり、また、市民の憩いの場、ふれあいの場でもあります。多摩川は唯一市域を沿って流れ、市域は多摩川によりつながりを保ってきました。

江戸時代に多摩川の水を利用し農業用水として開削され、近代では工業用水にも利用された400年の歴史を持つ二ヶ領用水に代表されるように、川崎の発展に多摩川が果たした役割は大きく、川崎の産業、歴史、文化、自然は少なからず多摩川と関係を持ち、多摩川の恵みに育まれてきたといえます。

「多摩川エコミュージアムプラン」は、このような川崎の背景である多摩川に着目し、多摩川と密接な関係を持つ「水環境」や、水系の涵養に不可欠な「緑」、地域が育んできた「歴史と文化」、そしてこれらを支える人々など様々な資源を活用し、地域に暮らす市民と企業、そして行政が役割を分担し、それぞれが持てる機能を發揮しながら、地域に立脚し、地域から発信するまちづくりをめざしています。

市民、企業、行政が
パートナーシップで取り組む
地域のまちづくり



【地域資産・遺産】

市民活動が活発に
展開されている
多摩川を中心とする
水系

水系を活かしたまちづくり -To make effective use of the watersystem-

周辺の市街地と一体となった「水」を中心とした自然・歴史・文化的環境の保全を行い、水を活かしたまちづくりを推進します。

【地域資産・遺産】

水系を支え、東西に ネットワークする 丘陵地等の緑

緑を活かしたまちづくり

-To maintain the surrounding greenery-
丘陵や周辺の市街地と一体となった「緑」を中心に、身近な地域の自然を保全し、地域環境を活かしたまちづくりを推進します。

【地域資産・遺産】

市内に点在する 歴史・文化的な 資産遺産

活動を通じた人のつながり

歴史を活かしたまちづくり -To preserve and utilize historical inheritance-

旧街道沿いに発展したまちの歴史や多摩川により育まれた歴史、文化遺産、産業遺産等を重視し、これを活かしたまちづくりを推進します。



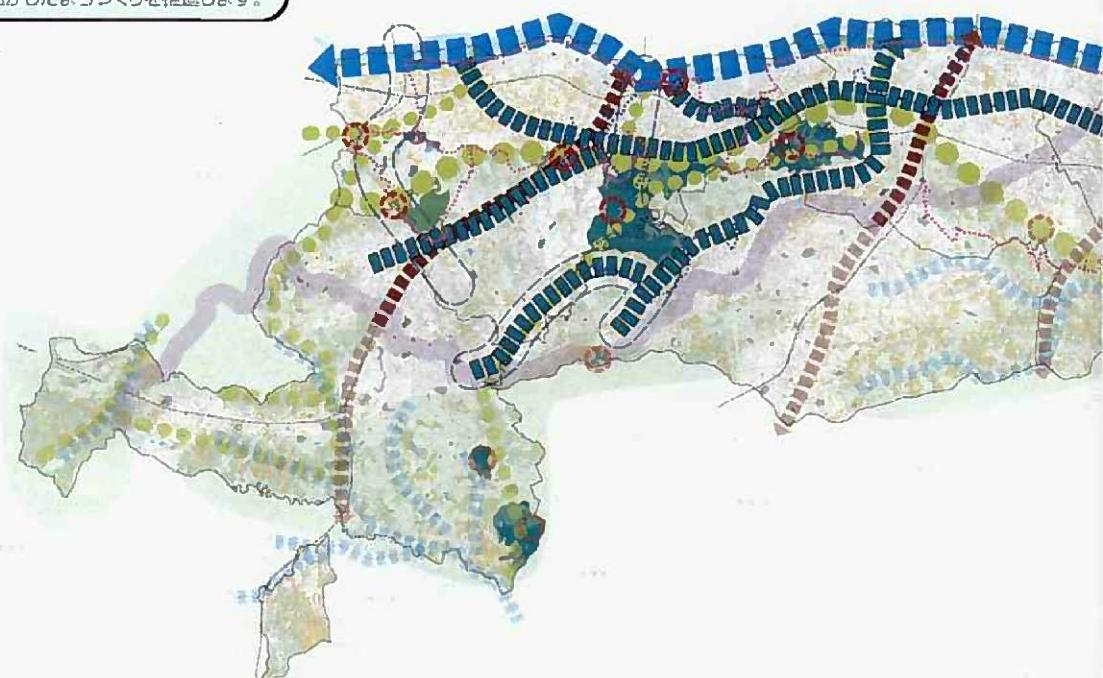
まちづくりの目標

- The aim of community development -

「水と緑と歴史」そして「人」とのネットワークの形成

「多摩川エコミュージアムプラン」は、地域の自然・歴史・文化を再認識し、これら固有の資源などを地域で守り、育み、継承していくこうとする活動です。

さらに、このような活動から人々の新たな交流を育み、快適で豊かな生きいきと暮らせるまちづくりに地域から取り組んでいくことをめざしています。

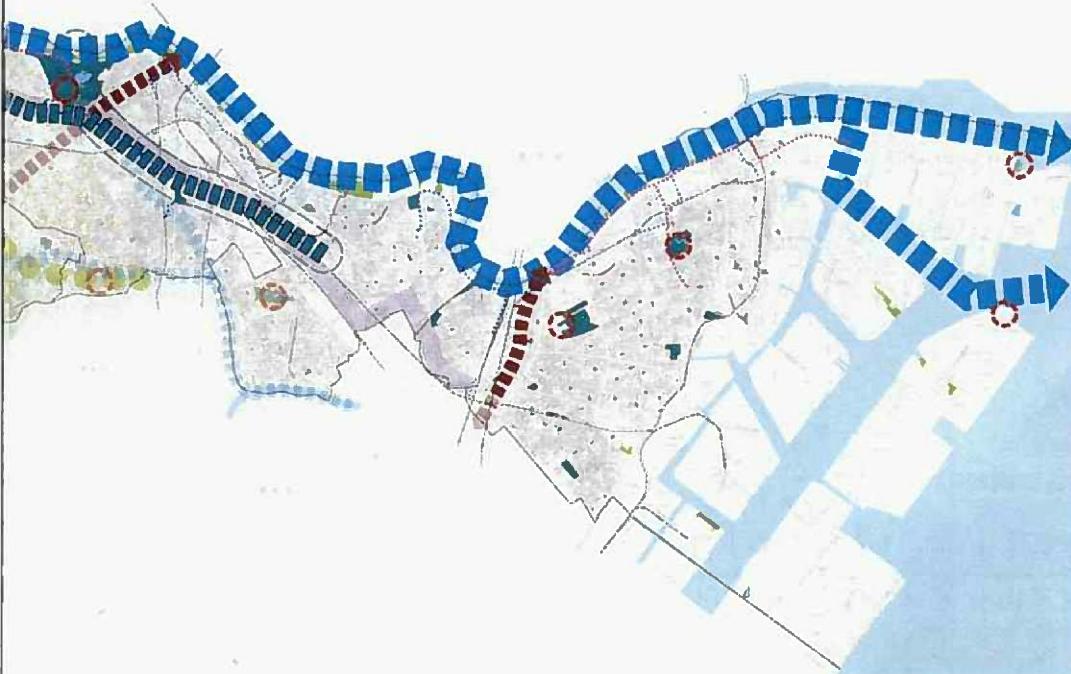
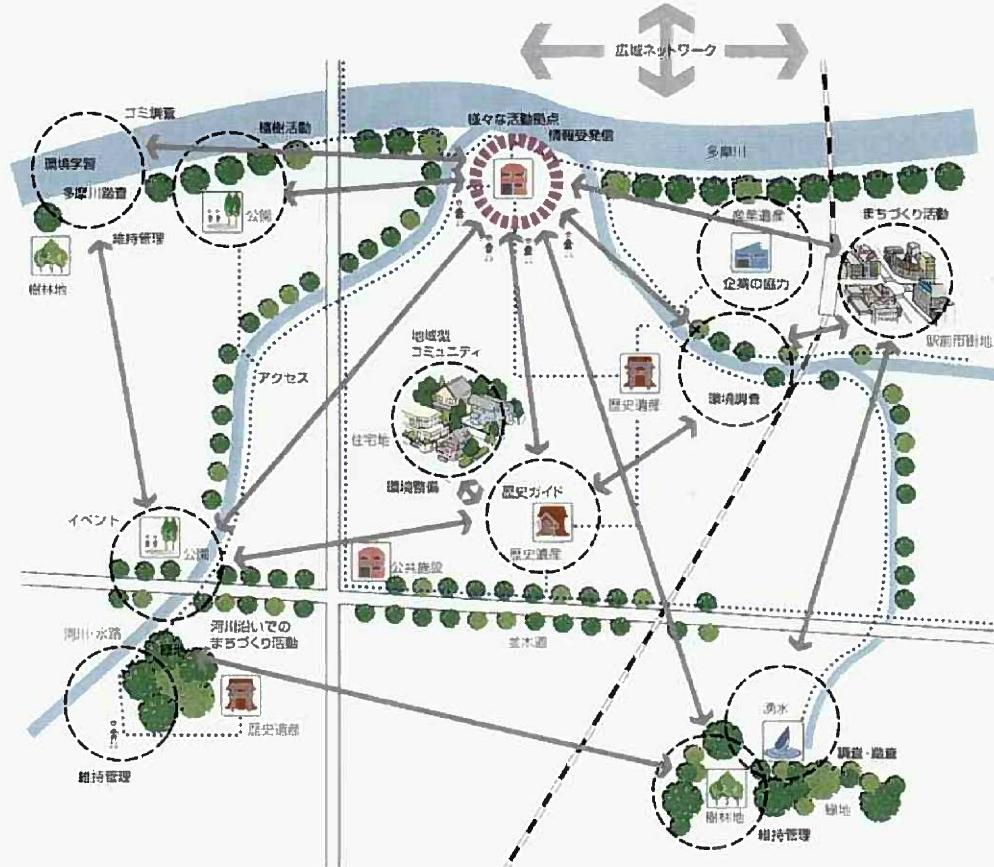


「多摩川エコミュージアムプラン」イメージ像

- Image of "Tamagawa Ecomuseum Plan" -

以下の図は「多摩川エコミュージアムプラン」のイメージを概念図化したものです。様々な場所で様々な市民活動が行われ、これらの活動が相互に関係を持ち、全体として一つの目標に向かって活動することをイメージしています。

緑地や河川などの「自然環境の保全活動」や、その「維持・管理活動」。「環境調査活動」や「歴史資源の調査やその維持管理」、「案内ルートの設定や散策イベント活動」、その他、これら資源を活かした「環境学習活動」や「地域のまちづくり活動」など、興味のある市民などが中心となって取り組む様々な活動とこれら活動のネットワーク化による、暮らしやすい地域の快適環境づくりの実現を図るもので



■将来骨格構造図

凡例
多摩川河川軸
多摩川支川軸
多摩丘陵軸
旧街道軸
歴史散策路
拠点・サテライト
市民活動を中心とする先導的な水と緑のネットワーク
多摩丘陵の緑のかたまり
多摩川水系流域界
公園
樹林地
農地

「多摩川エコミュージアムプラン」の内容

- Contents of "Tamagawa Eco-museum Plan" -

市民と行政のパートナーシップによる展開と保全・育成

- To develop, preserve and promote the plan through community and government partnerships -

川崎の自然や歴史・文化の骨格を形成する基礎となる軸を以下のように設定します。大規模緑地・公園や斜面緑地、河川、歴史的資産・遺産の物的・人的なネットワークの形成と市民による保全・育成・継承活動を進めていきます。

地域からのまちづくり
まちづくりの目標
水系を活かしたまちづくり
緑を活かしたまちづくり
歴史を活かしたまちづくり

多摩川河川軸
多摩川支川軸
多摩丘陵軸
歴史軸

市民が日常的に親しめる憩いの空間づくりの推進
流域の水系を涵養する緑地づくりの推進
地域の歴史を見つめ直し活用するまちづくりの推進

地域による水系を活かした環境づくりの推進

- To promote a greater water system environment through community activity -

多摩川の水源涵養地でもある多摩丘陵の緑と河川の一体的な環境保全、そしてそこで活動する様々な市民のネットワーク形成を進め、さらに多摩川がつなぐ広域的なネットワークの形成を推進していきます。

多様な市民活動による広域ネットワークの形成

多摩川に関する環境啓発活動の実施や流域から河口までの市民活動の広域連携計画から維持管理そして地域のまちづくりへの展開、支川における総合的な市民活動

森と川の連携による水源保全と市民のネットワーク化の推進

市民の手による樹林地や斜面緑地の保護・育成活動と多摩川流域の水源保全活動の推進

多摩川がつなぐ市民活動の広域ネットワークの形成

河口から源流部までの多摩川流域の広域的市民活動の推進

市民活動を中心とするプランの推進

- To promote and support community activity -

既に活動が行われている箇所を相互に結び、多摩川へつながるネットワークを形成するとともに、先導的な市民活動を今後も支援・推進していきます。

水辺と緑のネットワーク形成 多摩川～平瀬川流域

多摩川と丘陵地との緑のネットワーク形成 多摩川～菅・多摩美地域

多摩川と市街地の桜のネットワーク形成 多摩川～小杉駅周辺市街地

二ヶ領せせらぎ館における環境教育の実践と市民活動への支援

- To carry out environment education and to support community activity at Nikaryou Seseragi Hall -

二ヶ領せせらぎ館を中心とした様々な市民活動の推進と支援を今後も進めていきます。

多摩川やその流域に関する環境教育・研究活動の展開

多摩川流域や丘陵部などで活動する様々な市民活動の支援と情報の受発信

流域の歴史や文化、生活環境の調査やその保全継承、自然と調和したライフスタイルの構築

地域からの新たな展開

- To establish footholds for community activity -

多摩川から鶴見川水系へと全市的な市民活動の連携や

新たな地域活動拠点の形成を進めていきます。

多摩川流域から鶴見川流域までの市民活動の連携

市民の運営管理による地域運営拠点施設の設置と具体的な展開

問い合わせ

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進担当 ☎ 044-200-2268 FAX 044-200-3921

表紙写真: 多摩川源流研究所 所長 中村文明